

MIDDLE1600_3

0801: シュレシンジャーの^{りよりよく} 膂^{なぐ} 力^け で殴^が れば、怪我^す じゃ済^す みませんよ。

0802: 正^{ただ} しい記^き 録^{ろく} は、秒^{びょう} 速^{そく} 八^{はっ} 百^{びゃく} メートルでした。

0803: 縦^{たて} 編^{じま} 柄^{がら} のソファ^ざ ーで、座^ざ 学^{がく} のビデ^し オを視^し 聴^{ちょう} しちゃう。

0804: ヴァツツォーラでの葬^{そう} 儀^ぎ が終^お わり、出^し 棺^{ゆつかん} 前^{まえ} に遺^い 族^{ぞく} が涙^{なみだ} ぐみます。

0805: ウィジェットを^き 極^わ めたいなら、シュパイヒャーに行^い ってみなされ。

0806: レッシイは、ビエンニュッイエンが食^た べたいとの言^{こと} 葉^ば を、^{ひる} 翻^{がえ} しました。

0807: ラッズィ殿^{どの}、足^{あし} を速^{はや} めないと、パウリーニョの通^つ 夜^や に遅^ち 刻^{こく} しますよ？

0808: ヒヨヌクの店^{みせ} に牛^{ぎゅう} 肉^{にく} を卸^{おろ} すのも、面^{おも} 白^{しろ} そうです。

0809: ベランジャーは常^{つね} に愛^{あい} 想^そ が良^よ く、親^{した} しみやすそうなキャラです。

0810: 愉^ゆ 悦^{えつ} と言^い えば、ミュッテルソルツでや^い ったゲ^い ムです^す ね。

0811: ガジェが^{くち} 唇^{びる} を窄^{すぼ} め、シェイクをストローからチューチュー吸^す ってます。

0812: 意^い 味^み が分^わ くらぬ「偵^{てい} 伺^し 」って単^{たん} 語^ご 、テョー殿^{どの} なら分^わ かるかも。

0813: ウェグナーが社^{しゃ} 長^{ちょう} の女^{じょ} 婿^せ になれば、妬^{ねた} まれるのも宜^{むべ} なるかなと。

0814: うーん、関^{かん} 西^{さい} でヒューマニズムを学^{まな} びましたが、覚^{おぼ} えてません。

0815: 脈^{みゃく} 絡^{らく} もない話^わ 題^{だい} ですが、ウェンディがパパイヤを収^{しゅう} 穫^{かく} しました。

0816: 小^ち っ ち ゃ い 頃^{ころ} 、牛^{ぎゅう} 乳^{にゅう} で背^せ が伸^の びると、連^{れん} 日^{じつ} 十^{じゅう} 杯^{ぱい} 飲^の んでました。

0817: 謝^{しゃ} 罪^{ざい} すれば、全^{すべ} てが丸^{まる} く収^{おさ} まるので御^ご 座^ざ います。

0818: 興^{きょう} 味^み がな^な い客^{きゃく} の話^{はなし} で、ティツツアの気^き 分^{ぶん} が塞^{ふさ} がります。

0819: ヴォルフエンビュッテルのど^い こへ行^い くか、すで^{ぎん} に吟^{ぎん} 味^み なさってますね。

0820: ジュジャは、サツチャヴァティーと筆^{ひつ} 写^{しゃ} したが、誤^ご 字^じ を含^{ふく} んでました。

0821: 予備^{よび}の劇^{げき}薬^{やく}も、ラバテュが持^もってっちゃったからなあ。

0822: ピエルヴォマイスキーは、常^{つね}に混^{こん}雑^{ざつ}する人^{にん}気^きスポッ^ぽトです。

0823: クォーコは、ポンチェコールヴォの葬^{そう}儀^ぎに、すぐ向^むかいますか？

0824: ミャンマーのミエイを拠^{きよ}点^{てん}に、桔^き梗^{きやう}を植^うえる授^{じゆぎ}業^{よう}を享^{きやう}受^{じゆ}します。

0825: ポリヴァーノフは番^{ばん}茶^{ちや}が好^すきで、よくジョルジーニョも誘^{さそ}ってます。

0826: そりゃあ、微^び動^{どう}だにしないシェヴァリアは、大^{たい}したもんじゃないですか。

0827: プラジャーパティをモチーフにした、雑^{ざつ}居^きビルを建^たてましょう。

0828: 僕^{ぼく}の語^ご彙^いでは、イエドヴァブネ事件^{じけん}のディベートは無^む理^りです。

0829: 幕府^{ばくふ}から了^{りやう}承^{しやう}を得^えるとは、大^{だい}名^みに変^{へん}化^かが生^{しょう}じたのでしょう。

0830: デインケルスビュールは、一^{いち}樹^{じゆ}百^{ひゃ}穫^{かく}の取^とり組^くみで進^{しん}歩^ぽを遂^とげました。

0831: ジャポニカ学^{がく}習^{しゅう}帳^{ちやう}の表^{ひょう}紙^しについて、議^ぎ事^じ録^{ろく}に上^のせましょう。

0832: ウォイチェフが詐^さ欺^ぎの餌^え食^{じき}になったので、微^び力^{りよく}ながら助^{じょ}力^{りよく}しましょう。

0833: テートリヒェスギフトを^か買^{ひや}うために、百^{へだ}キ^{まち}ロ^い隔^いたる街^いへ行^いきます。

0834: ミスるとクビなので、ヴィンツェンティは必^ひ死^{っし}でリカバリーしました。

0835: 愛^{あい}猫^{びやう}の鳴^なき声^{こえ}をよ^きく聴^きくと、「にゃー」ではなく「でゃー」と聞^きこえます。

0836: フォーグォが熱^{あつ}くて、キョプリュリュはジャケッ^ぬトを脱^ぬぎました。

0837: 雑^{ざつ}なプレイでも全^{ぜん}クリできる、パディージャは凄^{すご}いです。

0838: フォヴァルグの墓^{はか}で、涙^{なみだ}がブワッ^{あふ}と溢^でれ出てきました。

0839: 停^{てい}職^{しよく}中^{ちゆう}で暇^{ひま}なので、エギュベルでも飲^のんで寝^ねることにします。

0840: イェール大^{だいがく}学^{おんちゆう}御^ぶ中^ぐの武^い具^えが、グェンダルの家^{とど}に届^{とど}いています。

0841: 休^{きゅう}暇^かなのでえ、髪^{かみ}はボサボサのまま宿^{やど}で休^{やす}みまーす。

0842: おしょう 和尚がヘルマニユス^よを呼び、こっそりピザポテトをあげました。

0843: ピョンとジャンプしたらぎっくり腰^{ごし}になり、まだ痛みます。^{いた}

0844: ぎやくせつてき 逆説的に、ギャザコールの努力^{どりよく}で、ギャップ^うさえ埋めれば勝てますね。^か

0845: ヴァランティースは極度^{きよくど}の下戸^{げこ}で、酒は全^{さけ}くダメ^{まった}なのです。

0846: アブドゥッザフラは玉露^{ぎよくろ}を飲^のみ、樹木^{じゅもく}が朽^くちるのを見届け^{みとど}ます。

0847: オーベルニュでは、死者^{ししゃ}を慈^{いつく}しむ儀式^{ぎしき}が根付^{ねづ}いてます。

0848: ツィネゲに訴^{うった}えるつもりなら、まずは箇条書き^{かじょうが}にしてごらん。

0849: むかし 昔^{まつ}は、松ぼっくり集^{あつ}めを、ピヒラーとやったものです。

0850: シュウはんべつのうりよく ヒヨコの雌雄判別^{きよまん}能力^{とみ}で、ヴェラッティは巨万^えの富を得ました。

0851: ズビグニェフは、クロムニエジーシュで殉職^{じゆんしよく}したと、伺^{うかが}ってました。

0852: リューディが黒^{くろ}いカーディガンをお披露^{ひろめ}目し、絶賛^{ぜっさん}されました。

0853: ガイジェローヴァの組曲^{くみきよく}は、ヴィオラとピアノで構成^{こうせい}されます。

0854: ショファードが旗振り役^{はたふ}となり、ギyumシュがサポートする布陣^{ふじん}ですね。

0855: ファヴィニャーナに^き来てまで、芝^{しば}を刈^かる羽目^{はめ}になるとは思^{おも}わなかったですよ。

0856: とよ 取り寄せてたティフブルーの苗^{なえ}が、休^{きゅうじつ}日に届^{とど}きました。

0857: どうぜいまえ 増税^{さけ}前に酒^のを飲^すみ過ぎて、床^{ゆか}の画鋏^{がびよう}に気^きが付きませんでした。^つ

0858: となり 隣^きから聞^{こえ}こえたチェックメイト^{ぬし}の声^{おも}の主^{おも}は、ウォルツだと思います。

0859: かたがわ 片側^{たの}がピンチなので、ブラティスラヴァにヘルプを頼^{たの}めますか？

0860: みず ねえ、ピャチエターシュカに、水^{したた}も滴^いる良^{いとこ}い男^{おとこ}がいるってば。

0861: こがた ボディチェックで、小型^とスピーカを取^{はな}るべきか話^{はな}してる。

0862: いちばんたか たけ パプアニューギニアで一^{きれい}番高^{きれい}い岳^{きれい}は、びっくりするほど綺麗^{きれい}です。

0863: ジャヴァードは、アニョーヅネに^{かん}関する^{しりょう}資料の^{げんぽん}原本を、^{とうしゃ}謄写します。

0864: コンデョーは^{しゅわ}手話で、ジョヴァネッティと^とコミュニケーションを取れます。

0865: 僕^{ぼく}とヴァチェスラフにとって、イエシルキョイは^{いこ}憩いの^{ばしょ}場所なのです。

0866: 三^{さん}角^{かく}柱^{ちゅう}をプレゼントされても、^{あつか}扱^{こま}いに^{こま}困ってしまいます。

0867: 「ぐあー」という断末魔の叫^{だんまつま}びが、^{さけ}長^{なが}く^{はんきょう}反響して^る。

0868: ここで^{かくほ}確保するため、ヌールディヌのビザを^{かくほ}チェックしてください。

0869: 軒下^{のきした}から、グエと呻^{うめ}き声^{ごえ}が^き聞こえ、^{おそ}恐ろしい^{きも}気持ちです。

0870: ヤギェロンカの謎^{なぞ}かけに^{みちび}導かれ、僕^{ぼく}はジェフェルソンに^あ会い^いに行きます。

0871: どれだけヴォルツォーゲンが^{にかて}苦手でも、あれじゃ^{ちじよく}恥辱^{あた}を与^よえただけですよ。

0872: チェルニャーエフとオーギュストの^{せんきょ}選挙、^{ひょう}票^わが^よ割れるって^よ読みですな。

0873: グィードを^{かいにゆう}介^{しっさく}入^{かん}させたことは、^{しっさく}失策だと^{かん}感じましたか？

0874: 後悔^{こうかい}してるかもしれないけど、零^{こぼ}したジュースは^{もど}戻^{もど}ってきませんよ。

0875: ジョークじゃなく、洞窟^{どうくつ}にはニョロニョロした蛇^{へび}がいるんですよ。

0876: ジャップフェは^{だいみょう}大名^{びょうがくだい}から、^{とち}描額^{ちようだい}大の土地を^{とち}頂戴^{ちようだい}しました。

0877: ペティナイフの切^きれ味^{あじ}は、青龍^{せいりゅうとう}刀^{おと}には^{およ}及^{およ}びませぬ。

0878: 悲劇^{ひげき}が起^おこる^{まえ}前に、^{そんたく}忖度^{つた}せず、クウィリーヌスに^{つた}伝^{つた}えてくださいね。

0879: 僕^{ぼく}の住^すむ屋敷^{やしき}から、グウーと不^ぶ気味^きな音^{おと}が^き聞こえるの。

0880: デュペロンの書^{しょ}架^かには、^{ひぞう}秘蔵^{ひぞう}のブックカバーがあるんですって。

0881: 宮仕^{みやづか}えの身^み分^{ぶん}ゆえ、^{はな}ポジーリシクィイを^{はな}離^{はな}れることは^{はな}できませぬ。

0882: チェルカーズィに、ジャパネットのポスターを^は貼^はるらしいです。

0883: ロンセスバーリエスへの^{みち}道^{しめ}を示^{しめ}す、^{りていひょう}里^み程^み標^みが^み見つかりました。

0884: トゥヴァシュトリに^{まつ}纏^{とつび}わる、突^{なぞ}飛^{なぞ}な謎にチャレンジですわ。

0885: ドルフュスは、家族から^{かぞく}常^{つねづね}々^{しいた}虐^いげられ、家出を決意しました。

0886: 白^{びやく}夜^やの夜に、ヴァイオリンとピアノの^{ちようりつ}調^{ちようりつ}律^{ちようりつ}をします。

0887: 百^{ひやく}のペナルティにも恥^はじることなく、奴は^{やつ}悪^{あく}行^{ぎよう}を^{つづ}続^{つづ}けています。

0888: 風^{かぜ}が^げピュー^{たの}ピューなるバルコニーで、月華を楽しむわよ。

0889: 略^{りやく}言^{げん}すると、堅^{かた}い材^{ざい}木^{もく}が、何^{なん}とか入^に手^{ゆう}できそうです。

0890: ペリーヌは、スペツァティーノを、脇^{わきめ}目^めも振^ふらず食^たべ^{つづ}続^{つづ}けます。

0891: イェグノヴツェのトピックになると、ジェレミーは何^な故^ぜか微^ほ笑^{ほえ}むのです。

0892: 誰^{だれ}か^さを指^さすわけじゃないですが、キエ^{わら}キエ^{ごえ}キエ^{へん}って笑^{わら}い声^{ごえ}は変^{へん}ですよね。

0893: 紙^{かみ}に描^{えが}いたソビエスカの似^に顔^が絵^{おえ}、ギャップが^な無^なくポーズも^{かん}完^{べき}璧^{べき}です。

0894: 玉^{ぎよく}碎^{さい}覚^{かく}悟^ごの拳^{こぶし}が、巨^き悪^{あく}を^ふねじ伏^ふせるのです。

0895: クエジュが、苦^く痛^{つう}を和^{やわ}らげる薬^{くすり}を持^もっているのは、確^{たし}か^{たし}ですか？

0896: あそこで^{うやうや}恭^{あたま}しく頭^さを下^さげるのは、キャプスティックです。

0897: 重^{おも}い荷^{にもつ}物を背^せ負^おってでも、クァディ族^{ぞく}に会^あいに行^いきます。

0898: 眠^{ねむ}れなくとも、目^めを瞑^{つむ}るだけで休^{やす}まりますよ、フィリッピーヌさん。

0899: 槍^{やり}で壁^{かべ}を突^つくチョードウリーは、落^おち着^つけているように見^みえますね。

0900: ツェルクヴェニャクで、母^{かあ}ちゃん^{ぎせい}が犠^ぎ牲^{せい}となり、僕^{ぼく}を逃^にがしてくれました。

0901: アブドウルアズィーズが風^か邪^ぜをこじらせ、様^{さま}々^{ざま}な病^{びよう}気^きも併^{へい}発^{はつ}した。

0902: プロトポーポフが、僕^{ぼく}の希^き望^{ぼう}に沿^そうとでも考^{かん}え^がてるのか？

0903: スィウェリンは冒^{ぼう}険^{けん}好きで、危^{あぶ}ない場^ば所^{しょ}でも躊^{ためら}躇^でわず出^で向^むく。

0904: ポップカルチャー普^ふ及^{きゆう}の傷^{しょう}害^{がい}について、ざっくばらんに聴^きこうか。

0905: ゴミを散らすのは仕方がないので、一緒に片付けましょうか、シェイエスさん。

0906: ありゃ、リングィーサを作る器具が、劣化し壊れちゃったな。

0907: 名前にピュが付く銘酒を探してるのだが、ご存じないか。

0908: むう、ウパニシャッドは、ピッチョの血脈が受け継いだのか。

0909: 視覚的に訴えたきゃ、ポスターは図表中心と、部下に伝えてね。

0910: ジョゾに訊く限り、カラテョベでのジョルディの評判は、妥当だなあ。

0911: 鳩尾パンチから頸椎への打撃で、ミュリエルはぶっ倒れたぞ。

0912: 涙をポロポロ零し、ジョアキムが頼むとは、よっぽどだろう。

0913: ウェーチャチーフは、シャワー後のペトリウスで、モチベを保つ。

0914: フェデルツォーニと具志堅が、タッグで金をせしめたって。

0915: 辺境の地で、クエパロクが無視されるとは、ただならぬ事態だ。

0916: トゥーパリエフは、ウィトルウィウスのスキャンダルを暴くと、布告した。

0917: ピヤシンスキーは肥沃な地だと、よぼよぼの老婆が語ってくれた。

0918: ニュエンガトゥ語を学ぶため、眠りながらも聞き続ける。

0919: 恵那市で、ペットのアグウを飼うヨエルは、病気に伏した。

0920: カディイエヴィッチは、賢いが用心深く、滅多に身銭を切らない。

0921: ミヤスニコフは、肩を脱臼し処置を受けたが、まだ悶絶している。

0922: デュヴァルを探すなら、ウォッカが潤沢な酒場だな。

0923: ムットウヴェール氏が、イペキさんとチャリティに参加とは、珍しい。

0924: 雷が夜の静寂を破り、フェデェリコが飛び起きた。

0925: ドウラポは、ペットのピピとププに、パセリを含んだ餌をやる。

0926: サンギェギャムツォに^{すべ まか}全て任せることに、^{いちまつ ふあん おぼ}一抹の不安を覚える。

0927: 浅瀬^{あさせ ひろ}で拾った、^{せい}グアルネリ製のヴィオラを、ウィークエンドに^{しゅうり}修理しよう。

0928: 殊^{シュショウ}勝にも、平日に^{へいじつ}謝罪^{しゃざい}に来たが、まず^き義母と^{ぎぼ}義父^{ぎふ}に^{あやま}謝るべきだね。

0929: 砂丘^{さきゅう}で食べる^た魚^{ぎよ}ロックとボリボリきゅうりは、^{しふく}至福であろうな？

0930: フィーヴェーグとの^{げきとつ}激突で、^{からだ}体が^{まひ}麻痺し、^{こゆび}小指すら^{うご}動かぬ。

0931: 悲運な^{ひうん}奴隷^{どれい}が^もレイピアを持ち、クォーターマスターを^{とうばつ}討伐したとさ。

0932: 葡萄^{ぶどう}の^{ふさ}房^{かか}を^{はしゃ}掲げて^{さま}燥ぐのは、ピョートル様です。

0933: ペルチェさん、嫉妬^{しつと}じゃなく、^{じつりよく}実^{たか}力を^{みかえ}高めて見返しなさい。

0934: 初^{しょ}っ端^{ばな}から、^{にがびやくどう}二河白道^{すす}を進めば、^{まど}惑^すわず^す済むのだがな。

0935: ペギヤは、湯地でもらった^{ゆち}パキラと^{はちい}ユリを、鉢^いに生ける。

0936: フィオレンティーノは^{しゅうかへいげつ}羞月閉花で、^{ひう}非の^{どころ}打ち所がない。

0937: ミューさんが^{くび}首に^ま巻くのは、ベージュローゼの^まネックレスだろう。

0938: 勉強^{べんきょう}不足^{ふそく}で^す済まぬが、^{ぎんが}銀河と^{ちが}ネビュラの^{せつめい}違いを説明できぬ。

0939: 駐^{ちゅう}車^{しゃ}場^{じょう}から^{ねこ}ミャーミャーと、^{こえ}へばった猫^きの声が聞こえる。

0940: リヴァーディは^{ゆうしよくご}夕食後、^{むすこ}息子に^{かんじ}漢字ドリルを^と解かせる。

0941: 遠方^{えんぼう}の^{しせん}オブジェに^{なが}視線を^{ちゅうい}流したが、^そ注意^{ふせき}を逸らす布石だった。

0942: カルドゥーチョは、^{ぞうぼ}チャンスとばかりにバイトを増募した。

0943: フュルステンブリュッケは、^{きゃく}客の^{わら}笑いを^{つか}掴む^{きそ}基礎ができています。

0944: 膝^{ひざ}の上^{うえ}にいる^{とり}鳥^{たし}、^{どり}確か^{どり}デョーデョー鳥だったかのう。

0945: ウォープの^{どくさい}独裁で^{くに}国が^{ゆが}歪むとは、^{こと}ゆめゆめあるまじき事である。

0946: ソーシャルディスタンス^{かくほむ}確保に向け、^むパスクアリーノが^{きより}距離を^{はか}測る。

0947: 宮城で食べる絶品のパイクウミエンが、明日への活力になる。

0948: 物陰に忍び、痺れを切らさず直前まで粘ろうぜ。

0949: ギュルラッチを作れる、シェベシュチェーンが愚妻とは、酷い侮辱だぞ。

0950: あの童顔に騙されぬよう気をつけてな、お嬢ちゃん。

0951: プロパティだけでなく、スクリプト全般のチェックにまで、作業が及ぶ。

0952: ディストリビューターがぶっ壊れ、業務従事者が焦る。

0953: クイックが催したイベントは、ゲリラ豪雨で中止になった。

0954: スヴィックに旅泊し、翌日には、キニャーメウへ向かうことになる。

0955: ヒヤシュティは、志半ばで挫折したが、ホップファーが野望を継ぐ。

0956: ツアレーヴィチは、ウプサラで、ツンツンしてる少女を眺めていた。

0957: トゥーヒエンバッハから亡命した後の苦しみは、想像に難くない。

0958: 貴い命を失い、町長は夜通しで謝罪した。

0959: 琵琶湖で獲れた氷魚、フィエヴェちゃんにもお裾分けね。

0960: シイエは、炭疽病の致死率を知っているのですか？

0961: スウェーデンで拉麺を食べるなら、ヒュースクヴァーナがお勧めだな。

0962: ハーデャチへの映画の輸出が、公式に決定した。

0963: ユラユラ揺れる小舟の中で、役人は蛇腹楽器を楽しむ。

0964: 蛍と狸を使ったアートを、ヴィギッツオーロで展示したいな。

0965: ミューミューは、ヘーゼルが決めたフィギュアの美技に、魅せられた。

0966: 昼休みに釜飯を食ったら、ババ抜きをやるぞ。

0967: 獣医は旅行中で、夜中まで遠方で過ごす。

0968: 突然の事故で命は助かったが、義手は粉々になった。

0969: 砕氷船で、ビエラノヴィッチはバーベキューパーティを始めた。

0970: ティファニーの宝石で装飾した、煌びやかな家を造る。

0971: チェリーパイが好きなことを、去年ユッピに冷やかされた。

0972: 壺の細かな凹凸は、作者レオミュールの署名だそうな。

0973: 本舗と表示しているが、本当なのか疑わしい。

0974: 凍えそうな吹雪の中、ジョバーニャは石油を求め、飛び出した。

0975: ツィプラコフはギリギリで、締切まで二秒しか猶予が無かった。

0976: ピエルヴォマイスクの聖者を挙げるなら、ヴィエスラヴァだね。

0977: へべれけなのに琴を弾くと、下手故に人集りができてしまった。

0978: ヴォクリューズで爆竹を鳴らした、ウィッテフェーンが捕まったぜ。

0979: ベウジェツで、ミゲウとした花火は、風情があったな。

0980: フェンチェルの処理は延べませんので、グズグズせず決めちゃおう。

0981: プライベートジェットの予約が、次週の月曜から始まる。

0982: テュリタフォートノーマンで、シェンテュルクに逆らうのは、自爆ものだぞ。

0983: 協議の末、描写された人物は、ヘルトヴィッヒと断定された。

0984: ミョンジェはビール好きで、麦芽作りから独学で会得した。

0985: ジメジメした、池沼のほとりでのチェスを、グオズは好む。

0986: ペッツェッラの拙い表現でも、情熱で伝わるものなのか？

0987: 初穂料を笑顔で渡すオールドニェスに、アニョハセヨと声をかける。

0988: パヴィチェヴィッチがパートナーを募るのは、珍しいな。

0989: 影に隠れたが、花束にブバルディアや、ペゴニアが見えた。

0990: 船の名がキュペルリーなのは、作者であるペッシの好みに、由来する。

0991: 日本語に、テヤの付く言葉は無いが、消えたのか無かったのか分からぬ。

0992: 俺は、ジュディッタのやることなら、賢愚問わず妨げない。

0993: 寺巡りの旅の終わりは、グービャウッジー寺院だったよね？

0994: 株で五億稼ぎ、ボグスラヴは新たな事業に着手した。

0995: キアントウェルに火の粉がかかれば、漁夫の利が得られそうだ。

0996: デミヤニュークとペツォールトは、知る人ぞ知る有名人だ。

0997: ニュージャージーの気温が下がり、突如電が降ってきた。

0998: 教授のゼミは活発で、これからペリメニについて、ディベートする。

0999: ウェックスフォードでの初産が、無事に済んだとメールが届いた。

1000: グェグァンとスタンキェヴィッチ、まさに両雄並び立たずだな。